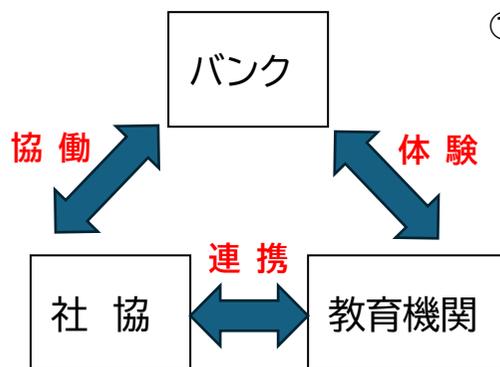


趣旨 ～福祉教育・福祉体験～

○函館市福祉人材バンク、函館市社会福祉協議会、教育機関の3者が三位一体の連携をとることにより、福祉体験等を通して、将来的な福祉人材の確保を目的とし、福祉の仕事の魅力を発信すると共に仕事の理解を深める。

取組内容 ～社協の強みを生かし、各団体との幅広いプラットフォームの形成～



① 福祉教育育成校との連携強化

～北海道教育大学函館校と社協との包括事業連携協定締結～

- ・学生による地域福祉コーディネーター体験を通しての福祉のお仕事の魅力の確認
- ・「まなびプロジェクト」の開催によって社協職員が講師となったノーマリー教室の実施をし、福祉のお仕事の体験
- ・福祉養成校との連携強化 - 講師の派遣等

② 学童・生徒による福祉教育推進事業 ～介護のしごと魅力発信教室を実施～

- ・介護分野の拡充(介護ロボット体験、高齢者疑似体験など)の体験により福祉への理解を深める

③ 社協主催の地域交流の場である、総合福祉センターまつり実施による社協、バンクの取り組みと福祉の魅力地域の方々へアピール

<福祉マインドの醸成>



協定調印式



「まなびプロジェクト」



高齢者疑似体験



介護ロボット体験



総合福祉センターまつり